

駿河台大学同窓会報

第7号
発行
駿河台大学同窓会事務局
〒357 8555
埼玉県飯能市阿須698
☎(042)972-1101
ホームページ
<http://www.sunugadai.ac.jp/dousou/index.html>

平成16年度

同窓会総会実施報告

去る5月8日(土)、平成16年度同窓会総会が、昨年度同様新宿区百人町にありますホテル海洋(JR大久保駅徒歩1分)にて開催されました。

総会は副会長の廣瀬尚氏(平成5年法学部卒)の司会のもと、竹下守下学長より大学近況報告、富岡勇哉会長(平成4年法学部卒)より、挨拶及び今後の運営方針についてのお話がありました。

議事では富岡会長が議長となり、平成15年度収支決算・監査報告、平成16年度事業計画及び予算案、新役員の選出等が審議されました。

平成16年度事業計画においては同窓会名簿の作成について、経済的困窮学生に対する貸与奨学金の新設について等の提案がなされましたが、議案については異議なく承認されました。

総会終了後は、別室のパーティールームにて懇親パーティーが開催され、会員及び教職員を含め約100名ほどの出席がありました。会員たちは駿河台大学で過ごした日々を懐かしみ、旧友や恩師と思い出話を花を咲かせていました。

また、本誌記載の通り、駿輝祭開催に併せてホームカミングデーを開催します。当日は、駿輝祭の出し物だけではなく、『舞の海秀平』氏講演会の開催も予定しておりますので、思い出しの詰まった大学を訪れ、懐かしんではいかがでしょうか。ご来場をお待ちしております。



同窓会長あいさつ

会長 富岡 勇哉

本日はお忙しい中お集まり頂き有難うございます。先程竹下学長先生から大学の現況等をご挨拶としてお伝え頂き、同窓会としましてもなるべく大学には協力する形で進ませて頂きたいと思っております。竹下先生からもお話がございましたが、先生の多大なるご尽力によって法科大学院が駿河台大学に出来上がった事は大変喜ばしい事と思います。ひとえに法制審等でも活躍されていた竹下先生のご尽力というところであります。引き続き法科大学院を含めまして大学の発展に向けて同窓会は尽力したいと思っております。

また同窓会の設立趣旨と致しまして、「大学に協力する」という事と、会員間の協力という事は先程からもお話させて頂いている通りでございます。今年度につきましても、各会員が何らかの形で連携を保って頂けるような形で進ませて頂きたいと思っております。ちょうど1ヶ月前、私は大学の入学式に参列して参りました。壇上から見ておりますと、私が入学した当時から20年近く経っているのですが、その時と比べますと、父母会の副会長さんが言っていました「モツブがあちこちある」と、頭が赤かったり黄色かったり、服装も必ずしも統一していない事で、私が入った当時から比べると、非常に個性的な感じがしてまいります。未熟だった全く何もなかった大学が発展している、あるいは個性化を図りつつある事なのだと思います。そういった状況からしまして大学を時々訪れますと、確かに建物が変わっていたり、あるいは新たに建設予定地が出来上がっていたりと、状況が大変様変わりしている所がございます。同窓会と致しましては、毎年ホームカミングデーという形で、大学の学園祭に合わせて皆様にお越し頂く機会を設けておりますので、何らかの形でその日に合わせても一度訪れて頂きたいと考えております。

さて、現状といたしまして、私は職場の関係でもあ

るのですが、年金問題ですが、イラクの人道事件というふうなあまりよろしくないようなお話がでております。また来年は戦後60周年という事で、いろいろ価値観が変わる所としております。ひとつは憲法改正という事が政府と与で声高に言われていますが、そういった中で個人の価値観、あるいは周辺の状況が大変変わってきていると認識しております。ごく最近の話でみなさんご存知だと思いますが、イラクの人道事件の時に、人質になった方々に「自己責任を取れ」という事が出て参りました。社会人となって大学から出て生活しているという事は、当然自己責任の問題が大変強くなってきていると思えます。ただ自己責任と実際上言われても、自分達の価値観、あるいは自分達が知りえる情報は非常に限定されている。毎日の生活を過ごしていくだけでいばいばい状況といいますが、そういう状況であると私も思いますし、みなさんも同じ事であると思えます。

ただそういった中で必要となってくるだろうと思われる事は自分だけでは、誰かの協力が得られるという所を作らなければいけないと思っております。今年度の事業と致しまして、昨年度この場でもお話をさせて頂きましたが、同窓会名簿の作成に取りかかりたいと考えております。詳細につきましては後程事務局からご説明をさせて頂きますが、同窓会名簿作成についてこちらにご列席いただいている方々に趣旨をご理解いただいて、進めさせて頂きたいと思っております。同窓会名簿は個人情報だというお話もあるかもしれませんが、それよりも何よりもそういう名簿の媒体を中心として、「共助の精神」ということで考えて頂きたいと思えます。名簿を開いて、ある職場にこういう人がいる、誰か助けて欲しい、あるいは弁護士さんがこういう所にいるんだ、税理士さんはこういう所にいる。あるいは会社でなんらかの形でイベントをやりたいが、誰かに助けて欲しいとなった時に、新規開拓をするという方法ももちろんあるかと思えますが、それ以上に同窓会名簿を使っていただいで、横の連携を取って頂くという事を考えて頂ければと思っております。

いろいろ纏々お話申し上げましたが、私共同窓会と致しましては、皆様の協力なくして進めていくことはできません。大学側への働きかけ、それから同窓会の会員間の協調という2つの念頭において本年度からも進めさせて頂きたいと思っておりますので宜しくお願いします。大変短いですけれどもこれにて私の挨拶に代えさせて頂きます。本日は有難うございました。

同窓会名簿制作への ご協力をお願い

同窓会総会でもご説明しました通り、現在同窓会名簿制作に入っております。

同窓会名簿は、同窓会活動活性化のための情報的基盤として重要なものです。また、これにより現役学生に対するサポート(就職活動等)も促進されるものと期待されます。

現在、標記における「往復はがき」にて、皆様の現住所等の確認作業を行っており、既に返信頂いておりますが、記入漏れが目立っております。ご面倒とは思いますが、

・名簿掲載の可否
(不可の場合は、氏名・学籍番号のみの掲載となります)

(可の場合は、勤務先住所以外の記載されている内容が掲載されます)

・入学年、学籍番号、姓名(旧姓名)、郵便番号、現住所の再確認
・電話番号(携帯可)
・E-mailアドレス
・職業欄(名称、住所)
・名簿購入の申込の有無(確認)
掲載の可否に関わらず、全ての欄に記入しご返送下さい。

名簿への掲載を希望しない方に関しても、制作用往復はがきにその旨を申し出て下さい。その際、住所等に変更がある場合は必ず記載して下さい。名簿には掲載致しません。事務局側で会報誌発送等の郵送先の管理を行いたく思いますので宜しくお願いします。

既に返信頂いている方は、当HPの「住所等の更新」をご利用下さい。

なお、今回の同窓会名簿制作に関して、全て(株)セブンワンに委託しております。その為、委託業者(株)セブンワンよりご確認の電話を掛けさせて頂く事もありますので、ご協力をお願い致します。

平成15年度同窓会収支決算報告書

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部) (増減 は超過を示す。単位：円)

勘定科目	15年度予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	179,065,066	179,065,066	0	
会費	14,695,000	14,515,000	180,000	2,535名分(新入生・2年生)
総会懇親会費	0	87,000	△87,000	総会懇親会参加費(3000円×29名分)
受取利息	100,000	196,603	△96,603	定期預金利息195,761円、普通預金利息842円
収入の部合計	193,860,066	193,863,669	△3,603	

(支出の部) (増減 は超過を示す。単位：円)

勘定科目	15年度予算額	決算額	増減	備考
事業費	21,300,000	5,637,191	15,662,809	
同窓会会報作成費	900,000	494,340	405,660	会報4・5号分、HP用PDF作成費等
大学への卒業寄付	1,000,000	829,353	170,647	平成15年度卒業生分
ホームカミングデー実施費	1,000,000	1,080,000	△80,000	
同窓会総会実施費	1,500,000	1,255,498	244,502	
地方支部会実施費	500,000	0	500,000	
同窓会奨学金	2,000,000	1,600,000	400,000	8名分
ホームページ管理費	400,000	378,000	22,000	
同窓会名簿作成費	14,000,000	0	14,000,000	
運営事務費	2,450,000	2,001,577	448,423	
郵送料	2,000,000	1,861,907	138,093	同窓会報郵送費等
印刷費	250,000	110,690	139,310	総会出欠葉書作成費、卒業生住所届葉書作成費
雑費	200,000	28,980	171,020	振込手数料、会長印作成費等
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
小計(当年度分計)	24,750,000	7,638,768	17,111,232	
次年度繰越金	169,110,066	166,224,901	△2,885,165	
支出の部合計	193,860,066	193,863,669	△3,603	

平成16年度収支予算

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部) (増減 は減を示す。単位：円)

勘定科目	16年度予算額	15年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	186,224,901	179,065,066	7,159,835	
会費	18,990,000	14,695,000	4,295,000	
受取利息	100,000	100,000	0	
収入の部合計	205,314,901	193,860,066	11,454,835	

(支出の部) (増減 は減を示す。単位：円)

勘定科目	16年度予算額	15年度予算額	増減	備考
事業費	21,800,000	21,300,000	500,000	
運営事務費	2,450,000	2,450,000	0	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
小計	25,250,000	24,750,000	500,000	
翌年度繰越金	180,064,901	169,110,066	10,954,835	
支出の部合計	205,314,901	193,860,066	11,454,835	

「事業費」内訳 (増減 は減を示す。単位：円)

勘定科目	16年度予算額	15年度予算額	増減	15年度実績額	備考
同窓会会報作成費	900,000	900,000	0	494,340	年2回発行(450,000円×2)
大学への卒業寄付	1,000,000	1,000,000	0	829,353	平成16年度卒業生分
ホームカミングデー実施費	1,500,000	1,000,000	500,000	1,080,000	講演会経費分を増額
同窓会総会実施費	1,500,000	1,500,000	0	1,255,498	
地方支部会実施費	500,000	500,000	0	0	
同窓会奨学金	2,000,000	2,000,000	0	1,600,000	
ホームページ管理費	400,000	400,000	0	378,000	
同窓会名簿作成費	14,000,000	14,000,000	0	0	
計	21,800,000	21,300,000	500,000	5,637,191	

同窓会支出予算項目内訳明細表

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

駿河台大学同窓会

「運営事務費」内訳 (増減 は減を示す。単位：円)

勘定科目	16年度予算額	15年度予算額	増減	15年度実績額	備考
郵送料	2,000,000	2,000,000	0	1,861,907	会報等2回(1,000,000×2回)
印刷費	250,000	250,000	0	110,690	封筒・住所届出八ガキ等の印刷
雑費	200,000	200,000	0	28,980	役員交通費等
計	2,450,000	2,450,000	0	2,001,577	

法科大学院の授業がスタート

新しい法曹養成制度システムとして、今年度全国68大学で開設された法科大学院。本学でも一週間の導入ガイダンスを経て、4月12日からいよいよ本格的に授業がスタートした。

法律基本科目の講義は、教員が学生の名前を覚えやすいように「とすべて座席固定制。授業はおおむね90%以上の出席が単位修得のための最低条件で、さらに授業中の応答状況も成績評価に加味されるとあって、学生の表情にも緊張感が漂う。なにしる必修科目とはいえ、1年生は最大でも44人、2年生は22人という少人数授業。どの科目もゼミナールに近いインタラクティブな授業が展開されている。講義終了後も、多くの学生から教員へ質問が飛ぶ。

本法学科大学院1期生66名の出身学部を見ると、非法学部出身者が約47%を占める。また社会人の入学割合も60%を越えており、多様な経歴を持つ人達が集まった。中には一流企業を退職して、「何としても弁護士になって、恵まれない人たちの役に立ちたい」と進路転換を図ってきた人もいた。それだけに、帰りの電車の中で聴きたいので、授業の録音を認めて欲しい。履修登録科目以外にも興味があるので特別に授業を聴講してみたいなどのさまざまな要望も出され、その意欲には並々ならぬものがある。

お茶の水キャンパスでは、4階と5階が院生室になっていて、それぞれ専用の座席と個人ロッカーが与えられ、座席からはLANケーブルでインターネットを介して、各種のデータベースにアクセスすることが可能だ。自分が必要とする法律の判例をノートパソコンから検索、院生室内のプリンタで大量にプリントアウトして資料とし、レポートの作成に余念がない。そんな光景が静穏な院生室のあちこちで見られる。院生室は午前8時から24時まで、休日もオープンされ、毎日夜遅くまで残って勉強している学生も少なくない。その真剣な学習ぶりは、まさに将来の法曹を目指す姿にふさわしいものがある。



法科大学院の授業がスタートした。新しい法曹養成制度システムとして、今年度全国68大学で開設された法科大学院。本学でも一週間の導入ガイダンスを経て、4月12日からいよいよ本格的に授業がスタートした。

卒業生は今

平成10年文化情報学部卒

鈴木 雅之



鈴木さんは平成10年卒業後、株式会社アイタ通信システム(現:株式会社DTS)入社。その後、国家試験であるシステム監査技術者のシステムアナリストの資格を取得。今年3月には、経済産業省が推奨するITコーディネータを取得するなど、数々の難関の資格を取得して活躍されています。今回近況を伺ってみました。

ITコーディネータとは どのような資格か

これまでのコンピュータシステムが業務効率化を目的とされてきたのに対して、最近では業務改善・革新のためにシステム化を行うというシステム導入の目的が変化してきました。しかし、このような変化に上手く対応できていないという状況があり、国際競争力の低下を招きました。そこで、経営者がITベンチャーに依存することなく、自らが業務革新のために必要となるシステム導入を実現する人材としてITコーディネータという資格制度が誕生しました。つまり、ITコーディネータは経営者の立場に立つて経営とITを橋渡しし、真に経営に役立つIT投資を推進・支援するプロフェッショナルであり、積極的にITやネットワークを活用して経済・社会システムや市場を形成する役割を持っています。

取得しようと思った経緯は

システムという世界に携わる人間として、よりよいシステムを提供していける人材になりたいと、現在の会社に入社した時から思っており、そのためには体系的な知識を持つことが必要だと考えました。そのために、システムアナリスト、システム監査技術者といった情報処理技術者の資格取得を目指し、取得してきました。しかしITの

知識や技術だけを持っていても、よいシステムにならないということに気がつき始めたときにITコーディネータという制度を見つけました。ITコーディネータは経営戦略、情報戦略、調達、構築運用といった5つのフェーズからなっており、特に経営戦略の視点から全体最適なシステム導入を実現するところが、今後必要となる技術者のあり方と考えて資格に挑戦してみようと思えました。

かなりの難度と聞いていますが

そうですね、業務のなかで経営戦略から運用までという広い範囲をカバーする知識が必要となります。単純に知っているという事だけでは駄目で実際にどのように判断するかという答えが必ずしも一つではなく、ベストに近い答えを考えるとということが求められます。ケース研修といった実際にITコーディネータのプロセスを体験する研修でも、知識だけでなくこれまでの業務経験等を用いた判断が求められ、経験の乏しい私は苦勞しました。私の場合は特別認定ということで、事前研修(4日間)・ケース研修(15日間)・特別認定試験という形でITコーディネータになることができました。現在は特別認定制度も終了しているのですが、ITコーディネータ補試験に合格し、ケース研修を受けてITコーディネータ補となり、その後実務経験を経てITコーディネータになるというステップを踏みますので、取得するのは結構大変な資格だと思います。

現在ITコーディネータ取得者は約4,800人。但し、鈴木さんの年代である20代を見ると、全体の2.1%(平均年齢45歳)しか取得しておらず、かなりの難度が伺える。また、既に取得している国家試験を見てみても、平成15年春季システム監査技術者取得(受験者4,707人 合格率35.0%)、平成15年秋季システムアナリスト取得(受験者3,553人 合格率29.0%)、平成15年秋季システムアナリスト取得(受験者3,553人 合格率29.0%)、平成15年秋季システムアナリスト取得(受験者3,553人 合格率29.0%)と難関を突破している。

現在の業務について

数年前から電機メーカーの情報プラットフォームを創出する部門に常駐しながら、そこでの業務支援を行っています。実際には技術的な調査、企画提案、研究開発、実証実験といったいろいろな場面の支援作業を行っています。新しいものを創出するという事もありますが、最新の技術に触れる機会も多いので、自らのスキルアップ等思われた環境で仕事をさせて頂いています。

学生時代について

入学当初から絶対学費のものを取るのだと思いい、いろいろな先生の研究室を渡り歩いてはコピーをご馳走になり、研究室は喫茶店ではないとよく注意されていました。何もないと研究室には行けないので、いつも何か聞こうと考えていると調べて結構努力したのですが、どうもコピー目当てで来る学生だと思われていたようです。ゼミは保坂先生のゼミで電子記録の長期保存について研究をしていました。ゼミに入った当初にコンピュータの記録は100年、200年残るのかということを言われたことがきっかけだったのですが、今でも先生と議論したことは強く記憶に残っています。この時短期的に良い事でも、長期的な視点でみれば必ずしも良いことにならないということを教わり、今でも物事を考える時の一つの指標になっています。

今後の目標は

将来的にはITコーディネータやその他の資格で得た知識、そして現在の業務の中で経験を上手に積み上げていきながら、独立してシステムや経営のコンサルティングの仕事ができるようになると思っています。

駿河台 スポーツニユース

剣道部

さる5月9日(日)、日本武道館で行われた第50回記念関東学生剣道選手権大会(男子個人戦)に、本学剣道部より7名が出場し、中村亮太君(経済学科3年・私立北海高校出身)が、5回戦進出を果たした。これにより、7月4日(日)に日本武道館で行われる第52回全日本学生剣道選手権大会への出場資格を得た。



中村君の話

1年生の頃から試合に出させてもらっていたが、結果を残すことが出来なかった。今回3年生になってようやく全国大会出場と言った結果が残せてとても良かった。波多野登志夫師範や先輩、後輩達の期待に応えるために全力で稽古に励み、全国大会では優勝を目指し一杯頑張りたいと思います。

カヌー部

5月9日(日)に群馬県水上町で、第27回NHK杯全日本選抜カヌーシラローム競技大会が行われた。NHK杯は伝統あるレースで、出場資格は前年度の日本選手権決勝出場者で、本学からは4名が出場、内2名が決勝進出を果たした。K1では、昨年決勝2位の加藤哲平君(法学学科4年)が予選で好タイムを出すも、最後のゲートを通過とされ、4年連続決勝進出はならなかった。荒巻雄一郎君(知能情報学科2年)は予選7位で通過したが、決勝では9位に後退した。C1では犬伏善則君(経済学科2年)が予選3位で通過、決勝も4位と昨年の5位から順位をひとつ上げた。今回の大会は上位7位までがテレビで中継され、犬伏君の雄姿は全国に放映された。なお、本学はこの大会の広告に協賛し、本学の名が全国に流れた。その意味でもインパクトの高い大会となった。



協賛ゼッケンを着けた荒巻君

10月30日

そろそろ母校が懐かしくありませんか？ ホームカミングデー ー開催のお知らせー

皆さん、卒業してから母校に足を運びましたか？貴重な経験を得た大学生活、そろそろ母校が懐かしくなっている頃ではありませんか？本年度も駿輝祭の開催に合わせて、10月30日(土)にホームカミングデーを実施します。ホームカミングデーでは、同窓会懇親会を行います。今年で3回目を迎え、昨年度は約200名の出席があるように、回を重ねる毎に好評を得て、遠方からも多数の参加を頂いております。本年度もぜひ、大学時代のお友達と連絡を取り合って出席してみたいはいかがでしょうか。また、ご家族連れも大歓迎です。駿輝祭では、お子様も楽しめるイベントも数多く開催されております。懐かしい風景・思い出が甦ってくると思います。皆様の多数のご来場をお待ちしています。

◆ホームカミングデー懇親会

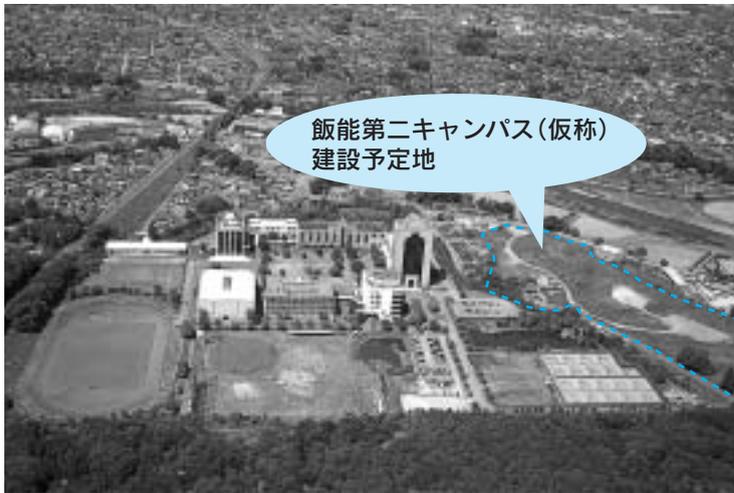
時間：15：00～16：30
場所：第2講義棟15階
レセプションルーム
会費：無料

◆ホームカミングデー講演会

講演者『舞の海秀平』氏
ホームカミングデーには駿輝祭のイベントとして講演会を行います。今年の講演者はTVでおなじみの大相撲解説者『舞の海秀平』氏です。参加費は無料です。
時間：13：00～
場所：第二講義棟 7405教室
入場：無料 (先着順)



お車でご来場の場合、大学内駐車場には止めることができませんので、大学近辺の駐車場へのご案内となります。駐車台数には限りがありますので予めご了承下さい。



キャンパスの東側、人間市に通じる道路をはさんで隣接する土地で、創立20周年記念事業として『飯能第二キャンパス(仮称)』の造成工事が進んでいます。
およそ8・1ヘクタールの広大な土地の『飯能第二キャンパス(仮称)』には、「学生寮」のほか、「野球場」、「多目的グラウンド」が併設される予定です。現在のキャンパスとの間に挟まれる道路には、陸橋(歩道)が設けられ、両キャンパスを安全に行き来できるようにします。
「学生寮」は、地上10階建てで、322室を備える大規模の施設(完成予想図参照)であり、一般学生に加えて交換留学生等の宿舎としても活用される一方で、福利厚生の一環として教職員の宿舎としても活用、平成18年4月入居開始予定です。
また、「野球場」が整備された後には、既設の野球場をラグビー場とし、陸上トラック内のグラウ

飯能第二キャンパス開設へ ー創立20周年記念事業ー

キャンパスの東側、人間市に通じる道路をはさんで隣接する土地で、創立20周年記念事業として『飯能第二キャンパス(仮称)』の造成工事が進んでいます。
およそ8・1ヘクタールの広大な土地の『飯能第二キャンパス(仮称)』には、「学生寮」のほか、「野球場」、「多目的グラウンド」が併設される予定です。現在のキャンパスとの間に挟まれる道路には、陸橋(歩道)が設けられ、両キャンパスを安全に行き来できるようにします。
「学生寮」は、地上10階建てで、322室を備える大規模の施設(完成予想図参照)であり、一般学生に加えて交換留学生等の宿舎としても活用される一方で、福利厚生の一環として教職員の宿舎としても活用、平成18年4月入居開始予定です。
また、「野球場」が整備された後には、既設の野球場をラグビー場とし、陸上トラック内のグラウ



同窓会事務局 からのお知らせ

同窓会事務局では、
1、会員の住所管理・名簿制作
2、同窓会報の作成・発行
3、同窓会ホームページの管理
4、資金管理
5、総会・懇親会の運営
等の業務を行っています。これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。
1、住所・氏名に変更があった方
2、同窓会報に寄稿したい方
3、支部会を組織したい方
特に1の住所・氏名の変更ですが、名簿制作のご協力はもちろん、会報誌発送等の住所管理にとっても重要となりますので、連絡をお願いします。
(同窓会ホームページから変更できます)
〒357・8555 埼玉県飯能市阿須698
☎042・972・1101
☎042・972・1149
✉dj@sunobun.ac.jp